

各 位

薬剤部／薬品情報室（D I 室）

D I ・ BOX # 1 2 7 6

後発医薬品への切り替えについて

薬事委員会において、下記の薬剤を後発医薬品へ切り替える事が決定いたしました。

ただし、後発医薬品には「造血幹細胞移植患者におけるアスペルギルス症及びカンジダ症の予防」の適応がないため、対象の疾患に限定して先発医薬品を使用することとします。

2020年4月14日（火）より後発医薬品のオーダを開始し、先発医薬品は「造血幹細胞移植患者におけるアスペルギルス症及びカンジダ症の予防」に限定してオーダを可能とします。

名称	後発医薬品	先発医薬品
オーダ名	ミカファンギン Na 点滴静注用 75mg 「サワイ」	ファンガード点滴用 75mg
適応症 用法用量	<p>・アスペルギルス属及びカンジダ属による下記感染症 <u>真菌血症、呼吸器真菌症、消化管真菌症</u>：</p> <p>1. 成人 アスペルギルス症：50～150mg（力価）を1日1回点滴静注。 重症又は難治性アスペルギルス症には症状に応じて増量できるが、1日300mg（力価）を上限とする。 カンジダ症：50mg（力価）を1日1回点滴静注。 重症又は難治性カンジダ症には症状に応じて増量できるが、1日300mg（力価）を上限とする</p> <p>2. 小児 アスペルギルス症：1～3mg（力価）／kgを1日1回点滴静注する。 重症又は難治性アスペルギルス症には症状に応じて増量できるが、1日6mg（力価）／kgを上限とする。 カンジダ症：1mg（力価）／kgを1日1回点滴静注する。 重症又は難治性カンジダ症には症状に応じて増量できるが、1日6mg（力価）／kgを上限とする。</p> <p>・<u>造血幹細胞移植患者におけるアスペルギルス症及びカンジダ症の予防（先発品のみ）</u>：</p> <p>1. 成人：50mg（力価）を1日1回点滴静注。 2. 小児：1mg（力価）／kgを1日1回点滴静注する。</p>	
区分	注射 2020年4月14日（火）よりオーダ開始 アスペルギルス属及びカンジダ属による真菌血症、 呼吸器真菌症、消化管真菌症にのみ使用可能	注射 2020年4月14日（火）より 当院取扱い中止

* 詳細・不明な点につきましては医薬品情報室（3194）までお問い合わせください。

* 「DI・BOX」は電子カルテ（EGMAIN）の掲示板およびイントラネットで参照・検索できます。